

第12回

# B&G 全国サミット

「地域力の向上に向けて ～環境・防災・コミュニティ～」



2020年1月21日(火) 笹川記念会館

オープニング 13:45～ 栃木県立烏山高等学校 吹奏楽部

第一部 14:00～

1. 主催者挨拶 B&G財団 会長 前田 康吉
2. 来賓紹介
3. 特別基調講演  
「世界から見た日本」 日本財団 会長 笹川 陽平 様

休 憩

第二部 15:20～(予定)

4. 全国サミット会長の選任
5. 第16回B&G全国教育長会議の報告  
秋田県由利本荘市 教育長 佐々田 亨三 様
6. 第4回B&G全国指導者会総会の報告 青森県南部町 町長 工藤 祐直 様
7. パネルディスカッション「地域力を活かしたまちづくり」  
長野県白馬村 村長 下川 正剛 様  
福井県大野市 市長 石山 志保 様  
鹿児島県天城町 町長 森田 弘光 様
8. B&G財団の取り組み
9. 第12回B&G全国サミット共同宣言

第三部 16:40～(予定)

10. 2019 B&G PR大賞表彰
11. 2019 海ゴミ0フェスティバル表彰
12. 2018年度 優良海洋センター表彰

レセプション 17:20～(予定) 4Fホール

## ご挨拶 | 第12回「B&G全国サミット」の開催にあたり



ブルーシー・アンド・グリーンランド財団  
会長 前田 康吉

本日は、第12回「B&G全国サミット」を開催いたしましたところ、公務ご多忙のなか、全国388カ所の海洋センター所在自治体から、200人を超える市・町・村長をはじめ、副首長や教育長など、800人もの大変多くの皆様にご列席をいただきました。主催者を代表し心より厚くお礼申し上げます。

また、ご来賓として、日ごろからB&G財団に多大なご支援をいただいております日本財団をはじめ、ボートレース関係団体のご代表にもご臨席を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

はじめに、去年は数多くの台風が日本列島に上陸し、大雨による河川氾濫や強風による長期の停電など、日本各地で甚大な被害がもたらされました。

被災されました皆様に、心よりお見舞いを申し上げますとともに、被災地におかれましては、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

また、全国の「海洋センター」に対し、被災地支援を目的とした「支援金」のお願いをいたしましたところ、大変多くの皆様から貴重な浄財をお預かりいたしました。

改めまして、ご協力いただきました自治体・関係の皆様へ厚くお礼申し上げます。今後「支援金」は被災地と相談し、被災した子供達の為の事業などに活用させていただきます。

さて、この「B&G全国サミット」は、1年に1度、市町村長、教育長の皆様などにお集まりいただき、B&G財団と自治体、また自治体相互での情報を共有し、未来を担う子供達の健全育成をはじめ、地域の活性化・発展を目指し、連携を強化するための最重要会議でございます。

そのため、毎回、地方自治体が抱える、今日的課題や将来を見据えた問題などをテーマに開催し、各地の先進的取り組みなどを共有しております。

今回のB&G全国サミットのテーマは、「地域力の向上にむけて～環境・防災・コミュニティ～」といたしました。日本の豊かな自然環境は、地域の魅力であり、貴重な資源であります。しかし、今回の台風災害のように、いままでの常識が当てはまらないことを認識し、未来志向で、自然との共存共栄を目指していかなければなりません。

会議では、市町村長からの様々な取り組みなどを発表いただきB&G財団事業の説明も行わせていただきます。

また、今回も会議の開催に併せ、毎回皆様が大変楽しみにされておられます、日本財団 会長の笹川 陽平 様による「世界から見た日本」と題した特別基調講演を頂きます。

会議終了後には、皆様の情報交換の場として「交流会」を用意しておりますので、併せましてのご出席をお願い申し上げます。

おわりに、今後とも当財団は、全国の海洋センター関係者の皆さまと手を携え、地域の活性化や、人づくりに邁進してまいります。どうぞ本日ご出席の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。







日本財団 会長  
ミャンマー国民和解担当日本政府代表  
笹川 陽平 様

[略歴] 1939年 東京生まれ。明治大学政治経済学部卒。

ハンセン病の世界制圧を目指し、世界保健機関ハンセン病制圧特別大使として1年の3分の1近くを発展途上国の現場で活動している。1985年に122カ国あったハンセン病未制圧国も、現在はブラジル1カ国を残すのみとなった。

医学的な制圧だけでなく、ハンセン病のもう一つの問題であるスティグマや差別との闘いも開始。2003年には初めて国連人権高等弁務官事務所を訪問し、人権問題として取り上げることを要請した。これらの働きにより2010年12月には国連総会でハンセン病患者、回復者、その家族に対する差別撤廃が決議された。

2014年10月には、40年以上にわたりハンセン病制圧や患者・回復者が直面している差別と人権侵害をなくすために、WHO、各国政府、国際機関、非営利機関と密に協力して世界的に活動を続けてきたことが評価され、国際法曹協会（IBA）から、いわゆる法曹界のノーベル賞といわれる「法の支配賞」を日本人として初めて受賞。

さらに2019年1月には、世界的なハンセン病制圧活動などの慈善活動が評価され、インド政府から日本人初のガンジー平和賞を受賞した。

次代を担う人材育成については、世界69大学に奨学制度を設け、グローバルな視点で行動できる人材を養成、卒業した笹川奨学生は15,000人を超え、世界的なネットワークを構築している。

中国においては、30年間で2,200人以上の中国人医師を日本の大学医学部や医療機関で受け入れてきた。世界海事大学の奨学制度をはじめ海洋の専門家の育成にも取り組む。

ミャンマー政府と少数民族武装勢力との70年以上の長きにわたる闘いについては、2013年2月に日本政府より「ミャンマー国民和解担当日本政府代表」に任命され、両者の信頼醸成のために奔走し、ミャンマー政府と10グループの少数民族武装勢力が停戦協定合意に至り、日本政府代表として停戦協定署名の場に立ち会った。

前記海事関係事業や世界保健機関（WHO）のハンセン病制圧大使、ミャンマー国民和解担当日本政府代表などとしての長年にわたる尽力、社会福祉など幅広い分野での活動などが評価され、2019年春の叙勲にて旭日大綬章を受賞、2019年度の文化功労者として顕彰されている。

国内外での活動は「日本財団会長 笹川陽平ブログ」で紹介している。



「日本財団会長 笹川陽平ブログ」

<https://blog.canpan.info/sasakawa/>

【主な著書】

- 『知恵ある者は知恵で躓く』（クレスト社）
- 『外務省の知らない世界の“素顔”』（産経新聞社）
- 『二千年の歴史を鑑として』（日本僑報社）
- 『この国、あの国』（産経新聞社）
- 『世界のハンセン病がなくなる日』（明石書店）
- 『人間として生きてほしいから』（海竜社）
- 『若者よ、世界に翔（はばた）け!』（PHP研究所）
- 『不可能を可能に 世界のハンセン病との闘い』（明石書店）
- 『隣人・中国人に言っておきたいこと』（PHP研究所）
- 『紳士の「品格」』（PHP研究所）
- 『残心 世界のハンセン病を制圧する』（幻冬舎）
- 『紳士の「品格」2』（PHP研究所）
- 『愛する祖国へ』（産経新聞出版）
- 『My STRUGGLE against LEPROSY』（出版NPOフェスティナレンテ）
- 『No Matter Where the Journey Takes Me』（HURST & CO）



# B&G全国サミット会長の選任

B&G全国サミット会長 山中 前芦屋市長のご勇退に伴い、会長の選任を行う。

## B&G全国サミット会議規則（一部抜粋）

（役員）

- 第4条 サミットを円滑に推進するため、次の役員を置き、首長をもってこれにあてる。
- 会長 1名、
  - 副会長 若干名、
  - その他役員 必要に応じ別に定める
- 5 サミットの役員の任期は原則3年とする。但し、再任を妨げない。

## 【現在の就任状況】

全国サミット役職	役職	氏名
会長（退任）	前 兵庫県芦屋市長	山中 健 氏
副会長	岐阜県中津川市長	青山 節児 氏
副会長	大分県佐伯市長	田中 利明 氏
副会長	千葉県鋸南町長	白石 治和 氏
副会長	徳島県美波町長	影治 信良 氏
副会長	北海道新篠津村長	石塚 隆 氏

【任期】2018年1月24日～2021年1月21日(次回開催日の前日まで)

## 第16回 B&G全国教育長会議の報告

テーマ：「これからの時代の生きる力を育む～より効果的な学びを提供するために～」

実施日2019年11月6日 14:00～17:00

交流会 17:15～18:15

11月7日 9:00～11:30

参加者：教育長126人を含む169人

場 所：日本財団ビル

### プログラム

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| 11月6日      | 11月7日           |
| ・主催者挨拶     | ・基調講演2          |
| ・正副会長挨拶    | ・文部科学省の取組       |
| ・基調講演1     | ・B&G全国教育長会議「提言」 |
| ・教育長事例発表   |                 |
| ・B&G財団事業紹介 |                 |
| ・交流会       |                 |

## 【基調講演】

### 「学校教育を本質から問い質す」

千代田区立麹町中学校

校長 工藤 勇一 氏



固定担任制の廃止、定期テスト・宿題の廃止など、革新的な取り組みを次々と行い、教育界から注目を集めている。同校が掲げる教育目標は「自律」「尊重」「創造」。まず生徒たちが自ら考える、その環境を作ることが教育であるべき、手段と目的を取り違えない教育が必要、現場から変えていくべきと力説しました。

### 「子供たちの健やかな脳発達のために～アウトドア育脳のすすめ～」

東北大学 教授 瀧 靖之 氏



アウトドア体験には、運動、コミュニケーション、好奇心探求の要素が含まれ、「コントロールされていない環境下での状況判断」「課題遂行能力」「共感性・非認知能力」「親子のコミュニケーション」の向上が期待できる。日帰りでも構わないので、ぜひ親子で自然に触れてほしい」と語りました。

## 【教育長事例発表】

### ●「海は最高の学び場!B&G指導員の活躍と出前教室の実施」

島根県浜田市 石本 一夫 教育長

学校・地域・海洋センターが見事に連携した「ふるさとマリン郷育(きょういく)」を発表

### ●「地域と連携した『遊び』と『学び』の場の提供」

広島県東広島市 津森 毅 教育長

地域住民のネットワークを広げながら、子供たちの好奇心や探求心を育む「BG塾」を発表

### ●「平成28年熊本地震の経験から『生きる力を育む防災教育』の取り組み」

熊本県南阿蘇村 松野 孝雄 教育長

震度7の地震に2度襲われた熊本地震から学んだ防災教育を発表。

## 【教育長会議提言】

- 自然体験活動を実践する「指導員の養成」と「B & G指導者会の設立」推進
- 地域と学校との連携強化
- 海洋性レクリエーション事業の推進
- 親子・家族の絆の推進
- 海洋センター・クラブの活用
- 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 全ての子供たちへの体験機会の提供
- 誰もが参加できる海洋センター活動の推進
- 海洋教育の積極的推進
- **変化に適応する「生きる力」の育成(新規追加)**

## 第4回 B & G全国指導者会 総会の報告

B & G全国指導者会は、「B & G全国指導者会会員は、日本全国での自然体験活動と水辺の安全教育の更なる推進のため、会員全員が一致団結し、未来を担う青少年の健全育成に努める」との宣言のもと、2010年1月16日に設立。2019年2月16日に第4回総会が開催され、新たな役員の選任等をはじめ今後3年間の活動方針と目標が決定された。

実施日：2019年2月16日 14:00~17:00

場 所：笹川記念会館

参加指導員：604人



### 【設立から10年のあゆみ】

#### 1.地域指導者会の設立拡大

⇒100%設置達成

#### 2.「B & G水辺の安全教室」の普及と実践

⇒100%実施達成

#### 3.ブロック別指導員研修会の開催

⇒参加率100%達成

#### 4.自治体の枠を超えた連携活動

#### 5. B & G指導員による被災地ボランティア活動

・2016年 熊本地震

がれき撤去等 計4回 76センター 126名

・2018年 西日本豪雨支援事業(広島)

中国ブロック内指導員 のべ39名

・2019年 西日本豪雨支援事業(岡山)

中国ブロック内指導員 のべ35名

### 【2019~2021年 活動方針・活動目標】

#### 【活動方針】

未来を担う子供たちのために

地域にとどけよう 笑顔と元気

#### 【活動目標】

- 「自然体験活動」の実践
- 地域指導者会の組織・活動の充実
- 会員の資質向上を図る研修会等の開催と自己研鑽
- 海洋センター利用者増と地域の活性化
- 活動情報の発信
- **災害時等における相互応援(新規追加)**

**継続的な指導者の養成と、海洋センターへの配置をお願い致します。**



# パネルディスカッション 「地域力を活かしたまちづくり」

## 【登壇者紹介】

### ～環境～



長野県 白馬村  
村長 下川 正剛 様

B & G保有施設



豊かな自然環境に恵まれ、民宿発祥の地として登山やスキーなどの山岳観光で発展。長野五輪の会場にもなり、国内外の多様な人々の交流をまちづくりに活かしている。

### ～防災～



福井県 大野市  
市長 石山 志保 様

B & G保有施設



山々に囲まれた大野盆地が堪える湧水や豊かな自然に育まれた歴史、伝統、文化などが息づく城下町であり、多くの湧水があることから「水の郷百選」にも選出されている。

### ～コミュニティ～



鹿児島県 天城町  
町長 森田 弘光 様

B & G保有施設



奄美群島の中央、徳之島にあり、トライアスロンが有名で、トライアスロンの国体会場になるなど、自然そのものがスポーツに最適な環境となっている。

## ～環境～ 長野県 白馬村の取り組み

近年、白馬村では冬期の外国人観光客が増加。人口9,000人に対して、冬場の外国人住民は1,000人を超える。外国人住民は主に、同村内の飲食店や宿泊施設、スキーのインストラクターなどに従事し、シーズンが終わると母国へ戻る。通年で定住して事業を展開する外国人も増加傾向にある。こういった外国人観光客の増加に伴い、2016年4月から白馬高校に国際観光科を創設し、全国から生徒が集まっている。同村の自然環境や人材を活かし、村内で活躍できるグローバルな人材を育てるため、英語や観光に特化した取り組みをしている。

白馬高校だけでなく、村立の小中学校においてもコミュニティ・スクールとして地域との協働による学びに取り組むことを目指しており、白馬村B & G海洋センター体育館と併設している中学校の放課後活動として、地域の人材を活用しながら国際観光を学ぶ事業等を同海洋センターにおいて検討している。



## ～防災～ 福井県 大野市の取り組み

大野市では、少子化・高齢化と人口減少により、消防団員の確保が難しい中、女性消防団「結の故郷ゆい くに女性分団」を結成し、100名の女性が市内の保育園で防火紙芝居披露や、各種イベントの積極的な参加など、その活動は多岐にわたっており、様々な活動の場としてB&G海洋センター体育館を活用している。

また2019年6月には、避難所生活をアウトドア体験に置き換え、災害時に避難所で行う共同生活・共同作業を通じて、世代間の交流や家族のふれあい、若者の交流のきっかけなどにもつながる、楽しく学べる防災イベント「結の防災キャンプ」を実施。市内を中心に20～30代の若者や家族連れ57人が参加し、グラウンドに設営したテントでの宿泊や非常食の実食体験など楽しみながら防災のノウハウを学び、防災意識の向上を図った。



## ～コミュニティ～ 鹿児島県 天城町の取り組み

天城町海洋センターの艇庫は、海洋センターを活用したモデル事業として、2017年度に改修。翌18年4月にリニューアルオープンした。

施設は、従来の平屋艇庫を2階建てに増改築し、1・2両階に多目的ホールを新設。艇庫も改築し、シャワーやトイレ、スロープ付きのウッドデッキなどを敷設したほかテナントスペースも設けている。子宝の島として知られている徳之島にちなみ、「子宝の島」の「子育ての基地」をコンセプトに事業を展開し、艇庫を利用し、従来の艇庫体験をはじめ、1年を通して、天城町の海や地域を学ぶ「海塾」を開催。ビーチクリーンや海の絵画教室など、マリンスポーツに留まらないプログラムを展開している。

2019年度から、新たにカフェが艇庫内に誕生。艇庫改築時に設けた売店スペースを活用して、地元のママがカフェを営業している。

このほか、交流スペースを活用したキッズルームの設置や、ピラティス教室、徳之島に在住のハンドメイド作家が集合し、それぞれの作品を販売するマルシェなども実施し、地域コミュニティの形成に役立てている。



# B & G財団の取り組み 青少年健全育成推進5ヵ年計画(2015~2019)のあゆみ(一部抜粋)

## 「青少年の健全育成推進5ヵ年計画」

青少年の心身を鍛え、これからの時代を生き抜く力の育成などを目的に、必要な既存事業とともに海洋センターの新たな活用を目指して様々な事業を展開。

## 海洋センターを誰もが気軽に集える場所に!

### 1. 地域コミュニティの再生に関するモデル事業

海洋センターをこれまでのスポーツの振興の場に止まらず、健常者・障害者・子供からお年寄りまで「誰にも親しまれ、気軽に集える」場所へとシフトするとともに、海洋センター施設を地域住民にとっての“たまり場”として地域コミュニティの拠点とする。

#### 【新たな活用イメージ】

#### 【施設活用の多様化】

スポーツ施設としての活用に拘らず、  
安心・安全に暮らす!

#### 【全住民を対象とした事業の実施】

地域の全ての人の笑顔のために  
人が集まる場所へと変化

## B & G 海洋センター



#### 【高齢者】

お年寄りがいつまでも元気であるために  
「家」から「センター」へ。  
「病院」から「センター」へ。

#### 【子供・子育て世代】

未来の子供たちのために、  
遊び、学び、そして“ママ”も応援!

【定量的な成果】 取組み前の2014年度と3年目の2017年度の増加率は以下のとおり。

(北海道積丹町)

年度	合計	前年比	2014比
2014年度	7,309		
2015年度	10,412	142.5%	
2016年度	12,366	118.8%	169.2%
2017年度	20,746	167.8%	283.8%

(熊本県湯前町)

年度	合計	前年比	2014比
2014年度	16,979		
2015年度	19,025	112.1%	
2016年度	22,897	134.9%	134.6%
2017年度	28,626	125.0%	168.5%

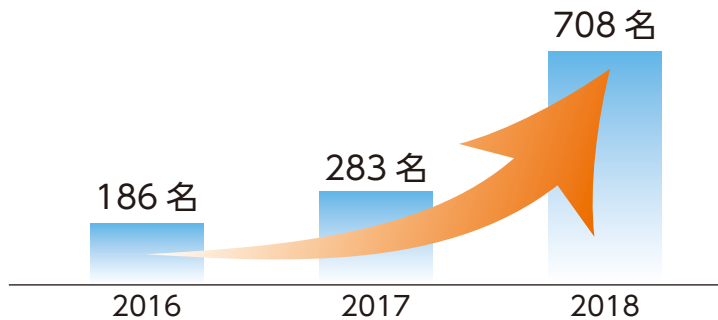
※以後、モデル事業は鹿児島県天城町(2017~2018年度)、大分県竹田市(2018~2019年度)にて継続実施



## すべての子供たちに水辺の体験機会を!

### 2. 体験格差解消事業

児童養護施設に入所する子供たち、障害を持った子供たち、ひとり親家庭の親子や子供たちなど、普段なかなか水辺での活動に親しむことが少ない子供たちなどを対象とした水辺の自然体験会を実施した。



#### (ひとり親家庭対象の自然体験会に参加した保護者コメント)

今日は親子で初めて海に行きました。一人で海に連れて行くのは、難しく子供が海に行きたいと以前から話していたことで参加しました。子供も大喜びでマリンスポーツや安全教室も一緒に学ぶことが出来、一日本当に楽しかったです。

## すべての子供たちの居場所づくりを!

### 3. 子供の居場所づくり

様々な状況下にある子供たちを受け入れる居場所作りを行い、生活習慣から学習支援まで総合的なサポートを行い、自立する力を育む。

#### ① 困難な状況下にある子供たちを対象とした「第三の居場所」

2018年度 8自治体9拠点開設決定

#### ② 共働きやひとり親家庭の子供たちを対象とした夏・冬休み子育て支援「BG塾」

2018年度 32カ所 2,556名参加(夏・冬休み)

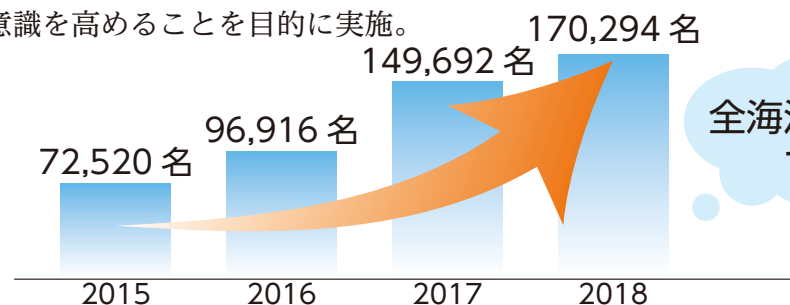
2019年度 53カ所 5,742名参加(夏休み事業のみ)



## 海レクの基本、自助意識の向上を目指して!

### 4. 水辺の安全教育の推進(継続事業)

水辺の事故から身を守り、自助意識を高めることを目的に実施。



全海洋センター  
で実施

海洋センターの新たな活用を推進し、付加価値を高めるとともに  
地域コミュニティの活性化に貢献

# 2020年度 B & G財団の主な事業（予定）

B & G財団では、海洋性レクリエーションや自然体験活動等の各種事業により、次代を担う青少年の健全育成と幼児から高齢者の心とからだの健康づくりを推進しています。

## 活動方針

- ▶子供たちにバーチャルから本物の体験を提供
- ▶貧困や障害等による体験格差の解消を促進
- ▶SDGs に沿う環境教育の推進
- ▶拡大する自然災害に備えた自治体や地域住民との協力
- ▶高齢者の生きがいを見出す事業の推進

## 目標

- ▶海洋センター利用者：1250万人
- ▶海洋性レクリエーション及び自然体験活動人数：100万人
- ▶水辺の安全教室参加者：20万人
- ▶困難な環境等の子供支援：5万人

## 海洋センター・クラブの活性化

### 学習と体験活動による子育て支援「BG塾」

- ◆時期：2020年夏・冬休み
- ◆場所：海洋センター 100カ所（新規40・継続60）
- ◆対象：小学生
- ◆内容：学習（宿題等）と体験活動（自然体験・スポーツ）が両立した教室（塾）を開催。
- ◆支援：教員や学生等謝金・消耗品等65,000円

### 海洋センターのバリアフリー化と器材配備

- ◆申請期間：2020年3月
- ◆支援：施設のバリアフリー化に係る備品配備やパラスポーツ器材の配備支援

### センター・インストラクターの養成

- ◆時期：2020年6月4日～7月6日（33日間）
- ◆場所：沖縄県本部町
- ◆定員：80名



### 学生ボランティアの養成

- ◆時期：通年
- ◆場所：海洋センター・クラブ 20カ所
- ◆対象者：海洋センター近隣に住む学生・高校生等

### 指導員研修会

- ◆時期：2021年1月（2日間）
- ◆場所：日本財団ビル（東京都港区・予定）

## 人的会議

### B & G全国サミット

- ◆時期：2021年1月22日
- ◆場所：笹川記念会館（東京都港区）
- ◆対象：海洋センター所在自治体の市町村長・教育長
- ◆内容：特別基調講演、事例発表 ほか

### B & G全国教育長会議

- ◆時期：2020年11月5日・6日
- ◆場所：日本財団ビル（東京都港区）
- ◆対象：ブロック連協幹事自治体 教育長、道府県連協 代表教育長、B & G所在自治体全教育長
- ◆内容：基調講演、教育に関する事例発表 ほか

## 自然体験の推進

### 体験格差解消を目指す水辺の自然体験の推進

- ◆時期：通年
- ◆場所：海洋センター・クラブ 30カ所
- ◆対象者：障害児・児童養護施設の子供
- ◆支援：水上レクリエーション器材150,000円

### 海洋クラブ登録制度

- ◆時期：2020年4月（申請受付）
- ◆対象：海洋センターや地域組織・団体等
- ◆支援：活動に必要な舟艇器材を配備

## 海洋教育の推進

### 「海の日」と「海の安全」を学ぶ水辺の安全教室

- ◆時期：通年
- ◆場所：全国の小中学校および海洋センター・クラブ等

### 海洋ごみ削減に向けた全国一斉清掃活動

- ◆時期：2020年5月30日前後
- ◆場所：全国の海洋センター・クラブ
- ◆内容：海洋ごみ削減に向けた海岸等を中心とする清掃活動と啓蒙活動
- ◆支援：ゴミ袋、トンブ、軍手、冊子等を提供

### 東京運河ごみゼロカヌーツーリング

- ◆時期：2020年5月31日
- ◆場所：東京・旧中川運河
- ◆内容：カヌーやSUP等で清掃活動を実施し、東京2020オリパラにむけた機運を高める。

## 修繕・舟艇

### 修繕助成金の交付（2021年度分）

- ◆申請期間：2020年8月中旬
- ※申請の手引きは7月にご案内予定

### 活動器材の追加・再配備（2020年度分）

- ◆申請期間：2020年2月上旬～下旬
- ※申請の手引きは1月下旬にご案内予定

艇庫の無い海洋センターも申請可能です！！

日本財団助成申請中につき、事業の決定は年度末となります。  
各事業の詳細は2020年度ブロック総会にてご案内させていただきます。



# 寄付金活動報告

## 平成30年7月豪雨（西日本豪雨）災害支援

### 「がんばろう岡山！B & G海遊び・マリンスポーツ体験 in 浅口市」開催

2019年8月25日(日)岡山県浅口市の三郎海岸にて、「平成30年7月豪雨」で被害を受けた地域の子供たちや、その家族を応援することを目的に「がんばろう岡山！B & G海遊び・マリンスポーツ体験会」を開催しました。この事業は全国469カ所にあるB & G海洋センターなどから寄せられた支援金を活用して実施した被災地支援事業です。実施にあたっては、岡山県B & G地域海洋センター連絡協議会や中国ブロック内の地域指導者会をはじめとするB & G全国指導者会から29人の指導者が駆けつけ、マリンスポーツ指導などの運営をサポート。30度を超える気温の中、岡山県矢掛町と井原市から招待した子供や親子104人に、SUPやカヌー、バナナボートなどのマリンスポーツを楽しんでいただきました。



#### 参加者の声

「いろんな種類のマリンスポーツが体験できて嬉しかった。またやりたい！」— 4年生児童  
「昨年の7月豪雨で自宅近くが水没しすごく怖い思いをした。当時は大変な事もあったが、今はこうしてイベントに参加できてよかった」— 保護者



#### スタッフの声

大人も子供も、参加したみなさんの笑顔がとても印象的でした。災害時には当海洋センターにも多くの方々が避難され、その後は他校での学校生活等不安な日々を過ごすこととなりました。災害から1年が経過し、今日まで全町を挙げて復旧・復興に取り組んできたなかで、夏休みの最後に海を存分に楽しむ機会を提供していただき大変ありがとうございました。 矢掛町B&G海洋センター 指導者 田中 基紀



浮島からダイブ！



宝さがして景品ゲット！



お昼は浅口名物宇宙カレー

## 子供たちの体験格差解消のための募金

全国の海洋センターの利用者の方や、全国サミットなど財団事業にご参加いただいた皆様から子供たちの自然体験における「体験格差」解消のため、多くのご寄付をいただきました。寄付金を活用して、2019年度は、都内のひとり親家庭の親子や児童養護施設の子供たち 36組 91人を招待した「若洲マリンスポーツ体験会」を実施。参加したひとり親家庭の保護者からは「ひとり親になってから、生活や時間に余裕がなくなり、子供にこんなステキな体験をさせてもらえて本当にありがとうございました」との感想がありました。また、児童養護施設のスタッフからは「施設でこういった貴重な体験をすることはありません。施設で休み中に海や湖に連れていくことは勤務状況や子供の安全性などと考えると難しく、今まで実施することが出来ていませんでした」などの声が寄せられました。



これからもB & G財団では全国の海洋センター所在自治体と連携して、ご寄付金を募り、障害児や児童養護施設、ひとり親家庭など、自然体験の機会に恵まれない子供たちに活動の場を提供してまいります。



夏の風が涼しく感じたボート遊覧



親子で力を合わせてカヌー体験






勇気を出して海へダイブ！



# 2018年度 優良海洋センター表彰

■「特 A 評価」海洋センター 306 カ所

No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名
1	北海道	北海道	砂川市 	67	東北	山形	舟形町	133	中部	長野	飯綱町牟礼
2			小平町	68			酒田市平田	134			飯島町
3			厚岸町	69		柳津町	135	上松町			
4			せたな町 	70		小野町 	136	生坂村			
5			剣淵町	71		埴町	137	飯綱町三水			
6			大樹町 	72		田村市滝根	138	阿南町			
7			鷹栖町 	73		かすみがうら市千代田	139	松本市波田 			
8			斜里町	74		小美玉市玉里	140	可児市 			
9			愛別町 	75		北茨城市	141	恵那市明智			
10			遠別町	76		行方市玉造	142	川辺町			
11			新篠津村	77	石岡市	143	八百津町 				
12			大空町東藻琴	78	五霞町	144	恵那市山岡				
13			北竜町	79	小美玉市小川	145	中津川市福岡				
14			東神楽町	80	常陸太田市水府	146	御嵩町				
15			名寄市風連	81	下野市国分寺	147	富加町				
16			積丹町 	82	鹿沼市粟野	148	中津川市加子母				
17			名寄市	83	那須烏山市南那須	149	中津川市付知				
18			和寒町	84	芳賀町 	150	掛川市大東				
19			芦別市	85	みなかみ町新治	151	掛川市 				
20			長万部町	86	明和町 	152	川根本町本川根				
21			上富良野町	87	玉村町 	153	牧之原市相良				
22			東川町	88	吉見町	154	掛川市大須賀				
23			美幌町 	89	嵐山町	155	袋井市袋井				
24			大空町女満別	90	久喜市栗橋 	156	沼津市戸田				
25			石狩市 	91	松伏町	157	浜松市三ヶ日				
26			浦臼町	92	白岡市	158	新城市作手				
27			秩父別町	93	いすみ市	159	東栄町				
28			沼田町	94	御宿町	160	清須市春日				
29			苫前町	95	横芝光町横芝 	161	西尾市一色				
30			滝川市 	96	香取市小見川	162	豊川市小坂井				
31			古平町	97	大多喜町	163	大台町				
32			室蘭市	98	香取市栗源	164	いなべ市大安				
33	弘前市	99	成田市大栄	165	大紀町大内山						
34	平川市尾上	100	香取市山田	166	桑名市長島						
35	鶴田町	101	鎭南町 	167	伊勢市御園						
36	南部町名川 	102	横芝光町光 	168	菰野町						
37	平内町	103	胎内市中条 	169	熊野市紀和 						
38	六戸町	104	佐渡市小木	170	志摩市志摩						
39	弘前市岩木	105	燕市	171	志摩市浜島						
40	山田町	106	上越市頸城	172	亀山市関						
41	久慈市山形 	107	糸魚川市能生	173	野州市中主						
42	一関市東山	108	新潟市中之口	174	米原市山東 						
43	岩泉町	109	新潟市味方	175	多賀町						
44	洋野町種市	110	新潟市新津	176	高島市高島						
45	八幡平市松尾	111	佐渡市羽茂	177	甲賀市甲南						
46	大船渡市三陸	112	砺波市	178	米原市伊吹						
47	奥州市前沢	113	南砺市福野 	179	長浜市浅井						
48	一関市藤沢	114	高岡市福岡	180	高島市今津 						
49	陸前高田市	115	富山市八尾	181	甲賀市甲賀						
50	登米市中田	116	穴水町 	182	堺市美原						
51	亘理町 	117	七尾市	183	南あわじ市南淡 						
52	松島町	118	志賀町富来	184	穴粟市千種						
53	川崎町 	119	白山市鶴来	185	新温泉町浜坂						
54	大郷町	120	勝山市	186	豊岡市出石						
55	大崎市松山	121	あわら市金津	187	市川町						
56	蔵王町 	122	大野市	188	養父市おおや						
57	登米市迫	123	坂井市春江	189	上郡町 						
58	加美町中新田	124	坂井市丸岡	190	丹波篠山市						
59	能代市	125	中央市玉穂	191	豊岡市竹野						
60	潟上市天王	126	山梨市牧丘	192	香美町香住 						
61	男鹿市	127	南アルプス市白根	193	姫路市家島						
62	由利本荘市西目	128	甲斐市敷島	194	淡路市東浦						
63	由利本荘市大内	129	甲斐市双葉	195	芦屋市						
64	大仙市神岡	130	甲州市塩山	196	猪名川町 						
65	由利本荘市由利	131	大町市	197	和歌山 串本町 						
66	にかほ市象潟	132	白馬村	198	中国 鳥取 鳥取市						

No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名	
199	中国	鳥取	鳥取市佐治	236	北九州	徳島	阿南市那賀川	273	大分	宮崎	杵築市	
200			北栄町北条	237			徳島市	274			日田市天瀬	
201			伯耆町岸本	238			阿南市	275			中津市耶馬溪	
202			島根	松江市松江			239	美波町由岐			276	佐伯市上浦
203				江津市桜江			240	那賀町鷺敷			277	国東市国見
204		浜田市三隅		241		海陽町海南	278	日田市中津江				
205		雲南市加茂		242		小豆島町内海	279	竹田市直入				
206		美郷町邑智		243		さぬき市寒川	280	豊後高田市真玉				
207		岡山	岡山市宍道	244		綾川町綾上	281	玖珠町				
208			岡山市建部	245		高松市国分寺	282	熊本			宮崎市田野	
209			備前市吉永	246		三豊市財田	283				長洲町	
210			新見市哲多	247		三木町	284				津奈木町	
211			井原市美星	248		松山市中島	285		湯前町			
212			津山市加茂	249		今治市大三島	286		美里町砥用			
213			井原市井原	250		鬼北町広見	287		菊池市泗水			
214			奈義町	251		西条市丹原	288		玉名市岱明			
215			広島	瀬戸内市長船		252	愛南町御荘		289	南関町		
216				和気町佐伯		253	今治市朝倉		290	南阿蘇村白水		
217		瀬戸内市邑久		254		津野町東津野	291		宇城市三角			
218		矢掛町		255		四万十町窪川	292		菊池市旭志			
219		鏡野町		256		柳川市大和	293		あさぎり町免田			
220		赤磐市吉井		257		大任町	294	鹿児島	いちき串木野市串木野			
221		新見市大佐		258		築上町築城	295		長島町			
222		府中市		259		みやこ町豊津	296		阿久根市			
223		東広島市黒瀬		260		久留米市三瀧	297		鹿屋市串良			
224		尾道市瀬戸田		261		川崎町	298		さつま町			
225		安芸高田市高宮	262	福智町金田		299	日置市東市来					
226		北広島町大朝	263	築上町椎田		300	薩摩川内市樋脇					
227		安芸高田市八千代	264	朝倉市甘木		301	天城町					
228		安芸高田市美土里	265	太良町		302	南大隅町佐多					
229		北広島町芸北	266	神崎市		303	南さつま市坊津					
230		東広島市安芸津	267	鹿島市		304	与論町					
231		萩市むつみ	268	みやき町北茂安		305	奄美市笠利					
232		山口	田布施町	269		南島原市加津佐	306	沖縄	伊江村			
233			長門市日置	270		南島原市西有家						
234	周防大島町		271	平戸市生月								
235	岩国市美和		272	時津町								

※ 赤 …10年以上連続特A 青 …9年連続特A 緑 …8年連続特A 【評価期間】2018年4月1日～2019年3月31日

## ■「A評価」海洋センター 84カ所

No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名	No.	ブロック	道府県	センター名		
1	北海道	北海道	枝幸町歌登	23	関東	埼玉	鶴ヶ島市	45	近畿	京都	南丹市園部	67	北九州	四国	高知	香美市香北	
2			下川町	24			千葉	南房総市千倉			46	大阪			千早赤阪村	68	宗像市玄海
3			岩見沢市栗沢	25			長南町	47			能勢町				69	福岡	宮若市宮田
4	青森	五所川原市市浦	26	新潟	阿賀町三川	48	丹波市山南	70		みやこ町犀川							
5		五所川原市金木	27		阿賀町津川	49	中央市波賀	71		飯塚市穂波							
6		中泊町中里	28		長岡市和島	50	山添村	72		江北町							
7		岩手	九戸村		29	阿賀野市安田	51	首爾村		73	佐世保市小佐々						
8			普代村		30	長岡市越路	52	和歌山		広川町	74	五島市岐宿					
9	花巻市東和		31	阿賀町上川	53	倉吉市関金	75	国東市武蔵									
10	東北	宮城	涌谷町	32	富山	上市町	54	鳥取市気高		76	由布市湯布院						
11			栗原市築館	33		永平寺町松岡	55	鳥取市鹿野		77	宇佐市安心院						
12			仙台市泉	34		越前町朝日	56	真庭市藤山		78	由布市挾間						
13			秋田	にかほ市金浦		35	若狭町三方	57	岡山	美作市作東	79	志布志市有明					
14				八郎潟町		36	下條村	58	浅口市鴨方	80	薩摩川内市上甕						
15	湯上市飯田川	37		松本市四賀	59	呉市蒲刈	81	本部町									
16	福島	福島	三種町八竜	38	岐阜	高山市清見	60	坂町	82	久米島町仲里							
17			大湯村	39		磐田市竜洋	61	富士宮市芝川	62	尾道市向島	83	うるま市勝連					
18			本宮市白沢	40		御前崎市	63	徳島	牟岐町	84	名護市						
19	関東	茨城	笠間市岩間	41	三重	滋賀	日野町	64	四国	香川	さぬき市津田						
20			八千代町	42			浜松市天竜	65	愛媛	今治市吉海							
21			那須塩原市塩原	43			伊賀市大山田	66	高知	東洋町							
22			板倉町	44			近畿	滋賀	日野町								

【評価期間】2018年4月1日～2019年3月31日

# 10年連続特A評価獲得センター

海洋センター評価は、各施設の管理・運営面を把握し、今後の活動の活性化に役立てるとともに、B & G財団が行う支援活動の指標とすることを主な目的として、2003年度から導入しているものです。

評価は最優良である特AからEまでの6段階で、第12回「B & G全国サミット」では、2018年度評価において特A・A評価を獲得したセンターを代表し、下記の10年連続特A評価海洋センターを表彰いたします。

1	北海道せたな町 B & G海洋センター 高橋 貞光 町長			
2	北海道鷹栖町 B & G海洋センター 谷 寿男 町長			
3	北海道愛別町 B & G海洋センター 前佛 秀幸 町長			
4	北海道積丹町 B & G海洋センター 松井 秀紀 町長			
5	北海道美幌町 B & G海洋センター 平野 浩司 町長			
6	岩手県久慈市山形 B & G海洋センター 遠藤 謙一 市長			
7	宮城県亘理町 B & G海洋センター 山田 周伸 町長			
8	宮城県川崎町 B & G海洋センター 小山 修作 町長			
9	千葉県鋸南町 B & G海洋センター 白石 治和 町長			
10	新潟県胎内市中条 B & G海洋センター 井畑 明彦 市長			
11	長野県松本市波田 B & G海洋センター 菅谷 昭 市長			
12	三重県熊野市紀和 B & G海洋センター 河上 敢二 市長			
13	兵庫県猪名川町 B & G海洋センター 福田 長治 町長			
14	和歌山県串本町 B & G海洋センター 田嶋 勝正 町長			
15	島根県江津市桜江 B & G海洋センター 山下 修 市長			
16	島根県浜田市三隅 B & G海洋センター 久保田 章市 市長			
17	岡山県矢掛町 B & G海洋センター 山野 通彦 町長			
18	岡山県鏡野町 B & G海洋センター 山崎 親男 町長			
19	香川県小豆島町内海 B & G海洋センター 松本 篤 町長			
20	高知県津野町東津野 B & G海洋センター 池田 三男 町長			
21	福岡県朝倉市甘木 B & G海洋センター 林 裕二 市長			
22	熊本県湯前町 B & G海洋センター 長谷 和人 町長			
23	鹿児島県さつま町 B & G海洋センター 日高 政勝 町長			
24	鹿児島県与論町 B & G海洋センター 山 元宗 町長			



# 「B&G全国サミット」共同宣言

## 第1回～7回

- 一. 海洋センターとの連携
- 一. 施設の運営と管理
- 一. 積極的な事業の推進
- 一. 情報・ノウハウの共有
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. 「東日本大震災」の復旧・復興

## 第8回

- 一. 災害時等における相互応援

## 第9回

- 一. オリジナリティを生かした魅力ある地域づくり

## 第10回

- 一. より強固な連携体制の確立

## 第11回

- 一. 誰もが輝ける地域づくり

---

## 第12回(案)

### 一. 地域力を活かしたまちづくり

海洋センターをはじめ、様々な地域資源を有効活用し、魅力あるまちづくりを推進するとともに、地域住民の知識・連携を深め、不測の自然災害等に備えよう。

2020年1月21日  
海洋センター所在市町村長一同

## 第13回「B&G全国サミット」 第17回「B&G全国教育長会議」

B&G財団では、会議を通じて、市町村長様、教育長様とのネットワークを更に深め、連携・協力を密にし、地域住民の皆様の健康づくりに力を注いでいきたいと考えております。

### 第13回「B&G全国サミット」

日時：2021年1月22日(金)

場所：笹川記念会館  
東京都港区三田3-12-12

対象：地域海洋センター所在市町村の  
市町村長様、教育長様

### 第17回「B&G全国教育長会議」

日時：2020年11月5日(木)・6日(金)

場所：日本財団ビル  
東京都港区赤坂1-2-2

対象：ブロック連絡協議会幹事教育長様、  
道府県連絡協議会が推薦する教育長様、  
地域海洋センター所在市町村の教育長様  
他



— 皆様のご参加をお待ちしております —